

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	子どもたちへ防災理解を広めるプロジェクト			
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	関西国際大学		
	活動 グループ名	児童文化研究会 (Child Culture Club)	参加学生 等人数	30人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	教育学部教育福祉学科		
	責任者氏名	椋田 善之	連絡先 電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	①紙芝居サークルどんぐりの会 ②立花ジョイタウン商店街振興組合		
	代表者氏名	①中嶋 裕子 ②組合長 峯松完治	連絡先 電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動 目標	様々な災害が多発している昨今、災害に向けた防災の取り組みを行うことが各地域で求められている。特に本学学生は、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭等を目指す者として、地震などの災害が起こった際、どのように子どもの命を守り抜くかについて今一度、検討していく必要がある。そこで、本プロジェクトでは、地域の実態や子どもの防災に対する現状を把握した上で地域の子どもたちに向けたオリジナル紙芝居を作成し、子ども達への安全教育を実施することを目的とする。 また、子どもへの安全教育を考えた際、保護者への情報提供も必要である。親子で参加できる遊びのひろばを開催し、その中で安全教育を行うことにより、保護者への安全教育、並びに子育て支援への取り組みにつなげる。			
活動内容及び 実績、評価	<活動内容> この取り組みでは、尼崎市が海拔0メートルの地域が多くあるということもあり、テーマを「津波」にして防災紙芝居の内容を考えていきました。 昨年度、防災への意識を高めるための取り組みとして子ども向けのオリジナル防災紙芝居を作成し、お披露目会で交流した尼崎市の絵本サークル「どんぐりの会」の皆さんから、改善点として、「タイトルを大きくする」「キャラクターの緑を大きくする」「タイトルをネタバレしないように変更する」「津波のシーンではキャラクターと波の遠近感を強調して描く」「冒険でチョキ(キャラ)が遊んでいるシーンを追加する」など具体的な意見をいただきました。このアドバイスを受け、今年度は紙芝居を修正し、「どんぐりの会」の皆さんに再度ご確認くださいました。また、紙芝居の読み方についてもレクチャーを受けました。 今年度は、Q's モールや立花ジョイタウンにて紙芝居や絵本の読み聞かせを実施し、子どもたちや保護者への防災意識を高めました。子どもたちは真剣に話を聞きつつ、繰り返しの言葉を楽しみながら防災で大事なことを口ずさんでくれていました。 <活動実績> 2024年7月30日(火)に立花ジョイタウン開催のジョイキッズイベントに参加しました。子どものツアーガイドの企画・運営と、子ども向けの制作を実施しました。子どものツアーガイドは、ジョイキッズをより知ってもらうために子ども自身がツアーガイドになります。セリフを覚え、大人を誘導してもらいました。 子ども向けの制作ブースでは、花火やオニヤンマづくりなど、夏にちなんだものを作成してもらいました。 ここでも集まった子どもに向けて「津波」をテーマにしたオリジナルの防災紙芝居の読み聞かせを実施し、保護者と子どもたちが真剣にお話を聞いてくれていました。また、この活動については、FM 尼崎にて募集をかける経験もさせていただき、学生自身がFM 尼崎			

にて活動PRを行いました。参加した学生は「とても緊張したけど、いい経験になりました。立花ジョイタウンの皆さんも優しくフォローしてくれたので、最後の方は楽しめました。立花ジョイタウンの皆さんの期待感も同時に強く感じたので、イベントは全力で頑張りたいです。」とFM 尼崎に出演したことに対する感想とイベントに向けた決意を伝えていました。



また、2024 年10月27日(日)にフェイスペインティングも行いました。様々な店舗を回ってお菓子をもらうイベントのサポートとして、出したのですが、ほとんどすべての参加者がフェイスペイントを楽しんでくれました。

2024 年 12 月 22 日(土)に尼崎キューズモールにて、クリスマスイベントを行いました。

手遊び、劇、絵本の読み聞かせ、ダンスなどを行いました。クリスマスツリーにサンタさんに向けたお願いごとを書くということも同時に行いました。

クリスマスとは関係はありませんでしたが、能登半島の地震のことを教訓にするためにも、冬のこの時期に大勢の人が集まる機会だったので、「津波」をテーマにしたオリジナルの防災紙芝居の読み聞かも同時に行い、開催したことの意味を感じることができました。



2025 年 2 月 8 日(土) 小田地区つながるフェスにて、「こどものひろば」としての出展し、こどもが自由に遊べるブースの運営と防災紙芝居の読み聞かせを行うとともに、活動報告のポスターを作成し、来場者へ今年度の活動報告を行いました。

2025 年 3 月 23 日(日) 日曜日のオープンキャンパスに合わせて、子ども向けイベントも開催。
尼崎キャンパス 1 階ロビーにこどものひろばをつくり、春休み中の子ども達が遊べるイベントを行った。

児童文化研究会は、他にもアミシング潮江商店街、塚口商店街、チャッピー保育園、汐江ふたば保育園などを訪れ、イベントのお手伝いやブースの出店、手遊びや絵本の読み聞かせ、ダンスなど多岐にわたり様々な活動を行っています。 今後もこのような活動を行い、保育者としての専門性を身につけていきたいと思います。

< 学生の感想 >

■児童文化研究会で作った防災紙芝居「夢でよかった」を子どもに向けて披露しました。しかし、子どもは途中で少し飽きてしまった様子が見られました。

子どもにも読みやすいよう、登場人物は子どもに身近な海の生き物「かに」「ヤドカリ」にしてみたり、絵も見やすいよう大きく描くようにするなど工夫をしていましたが、もっと工夫が必要だと感じました。

例えば、ストーリーを短くする事や、紙芝居でも仕掛けを付ける、リズムを付ける事で飽きずに最後まで楽しんでもらえるのではないかと思います。

防災の大切さを子どもに伝える事はとても大切だと思います。子ども達にどのように工夫をしたら飽きずに伝える事ができるかを考えるのが、私たちの改善点だと思います。

改善点を見直し、子ども達に防災の大切さをまた伝えられたら良いと思います。

■子ども達と玩具や絵本で遊びながら関わったことで、色んな年齢の子に合った絵本や玩具の使い方を勉強でき、子ども達が楽しんでいたことが嬉しかったです。また、子どもとの関わりから、親御さんとも子どもに関するお話をしたり、関わりができて楽しかったです。

■多くの人に支えられ、たくさんの人と繋がりを感じる事が出来た 1 年間でした。地域の方々との関わりが多く、たくさんの貴重な経験を得る事が出来ました。地域の方々とのイベントを企画・運営する機会があり、その中で支援・協力があり、無事にイベントを終える事が出来ました。地域の方々との繋がりを深め、温かい言葉やサポートがとても励みとなりました。また、イベントの準備や実施を通じて、人との繋がりやコミュニケーションの大切さを改めて実感しました。みんなで協力し合い、支え合う事もとても大切だと学びました。地域の方々だけでなく、部活動の仲間にもたくさん支えられました。部活動の仲間いなければ、イベントに参加する事も出来ませんでした。仲間の大切さを感じました。人との関わり、繋がりを感じ、貴重な経験をさせて頂いた 1 年間でした。

■2/8 は防災絵本『おおきなながみがやってきた』を子ども達に読み聞かせたり、親御さんが子どもに読み聞かせをしたりしていました！



どんぐりの会の方々から頂いた助言から、紙芝居のタイトルをネタバレにならないように変え、話の展開に合った紙芝居の抜き方をするなど、紙芝居をこども達により楽しんでもらえるようにする工夫を学べたと思います。

また、絵本で津波が登場するシーンでは、こどもの反応から津波の恐さを伝えられたと感じます。もっと防災についてこども達に知ってもらうために、災害をキャラクターにしてストーリー性を高めたり、こどもに参加型で避難の方法を考えてもらったりといった考えが浮かびました。

<評価>

立花ジョイタウンの皆様からは「関西国際大学の学生は本当によく頑張ってくれています」「今まで子ども向けのイベントはしていたものの、大学生がイベントに参加し、子どもたちに向けて様々な出し物や防災についての意識までつけてくださること、とても有難く思っています。」というコメントをいただきました。

学生たち自身にも大きな変化があり、今回、ジョイキッズイベントにてツアーガイドを始め企画・運営し、多様な子どもを相手に企画を成立させたことが自信になったようです。最初はそもそもどのような形で開催し、子どもたちにどこまでセリフを覚えてもらうか、どの店を回るか、決まっていなかったら、困惑していましたが、自分たちに決定権があることによって、イベントが自分事となり、様々な方から期待いただいたことによって、「成功に向けて様々なことに挑戦していく」をテーマに頑張ってくれていました。

どんぐりの会様からは、「ちょっとした助言で、どんどん紙芝居が進化していき、読み方にも工夫して、とても上手になったと思う。ようやく完成した紙芝居を使って、子どもたちに防災教育とともに絵本や紙芝居の楽しさを伝えてもらえると嬉しい。」とコメントをいただきました。

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。